

人々と火の信仰の関わりについて 五山送り火 観賞会



□ 講師／佛教大学歴史学部教授 八木 透



大文字に代表される京都の五山送り火は、実は謎だらけです。だれが、何時、何のために、山に文字や図柄を描いたのでしょうか。送り火のルーツは、何に求められるのでしょうか。また昔は、「い」や「竿に鈴」などの送り火もあったといわれていますが、今はどこにあったのかも不明です。送り火の歴史を紐解き、人と火との関わりを探りながら、京都の人々にとって送り火の持つ民俗的意味について考えていきましょう。講師は、民俗学者でテレビ解説でもおなじみの佛教大学教授の八木透先生です。講義後は京都大原の料理旅館「魚山園」オリジナルお弁当をご賞味頂きます。

※7階ロビーより、「大」と「妙・法」をご覧頂けます。左大文字・船形・鳥居形はご覧頂けません。

◆日 時／8月 16日 日曜日

- * 受付及び開場／17時～
- * 講演／18時～19時10分
- * 食事／19時10分～19時50分
- * 観賞／20時～21時（終了まで）

◆会場／京都新聞文化ホール(京都新聞社7階)

◆受講料／5,500円(弁当付・税込)

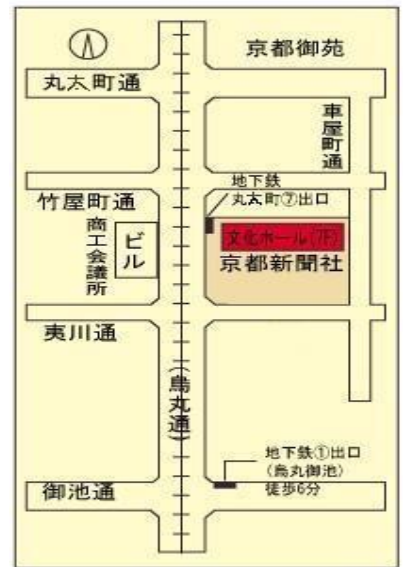
◆定員／110名(定員になり次第〆切ります)

※全フロアー禁煙になっております。酒類の持込みはご遠慮ください。

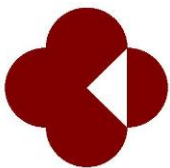
※必ず事前に予約と入金が必要です。

※振込みの際の受領証が入場券となりますので、必ずご持参ください。

※こちらの講座は入会金不要です。



お申し込み・お問い合わせは…



京都新聞文化センター

〒604-8578 京都市中京区烏丸通夷川上ル京都新聞南館8階

TEL 075(213)8141